

客室稼働率は平均で8割を超える、平日や土曜日はほぼ満室の状態といわれる。大阪市内は11

る。東京・渋谷に持つビルを改装。日本食レストランのほか、日本酒や特産品を扱う土産店を併設

たりして訪日客の需要に応える。フランチャイズチェーン（FC）方式による全国展開も検討す

あたりの就寝スペースを広くして高級感を打ち出す。宿泊価格などは今後詰めるが、1泊7千円前

人が観光スポットを紹介する動画サイトを立ち上げ、訪日客の需要を取り込む。

日本経済新聞社が実施した消費者のインターネット利用状況調査で、インターネット経由の消費が一段と拡大していることが分かった。最近1年間にネットで消費した金額は平均21万円と、2014年の前回調査より17・4%増えた。一方で格安携帯電話・スマートフォン（スマホ）を利用したい人は約3割に上り、ネット消費が増えるなか、消費者は通信費の節約を検討している。（詳細を21日付日経MJに）

「第4回ネットライフ1万人調査」は9月15～25日にネット経由で実施

ネット消費 2割増

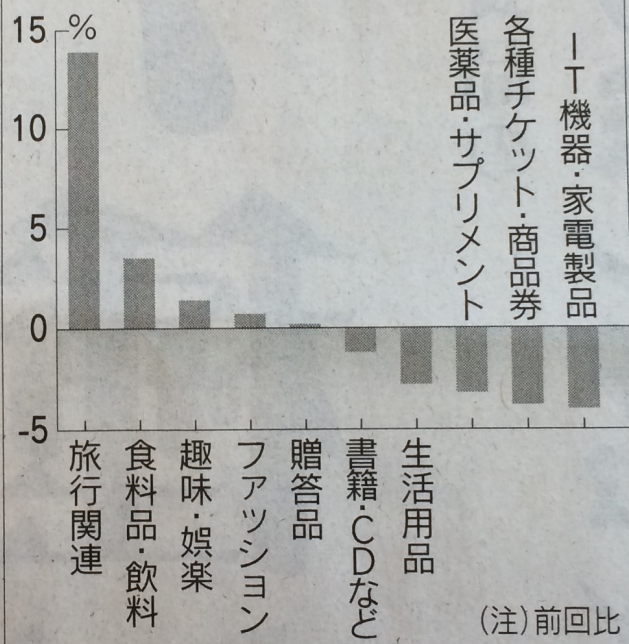
本社調査

した。日本の人口構成に応じ、全国の16～80歳の男女1万712人から回答を得た。

消費額を品目別にみる

と、航空券購入や宿泊施設の利用にネットで予約することが一般的になってきたことを映し、旅行関連が13・9%増と最も大きく伸びた。食料品・飲料も3・5%増で、電子商取引（EC）事業者

旅行関連の消費額が大きく伸びた
(ネット経由の平均購入金額の増減率)



旅行関連急増 通信費は節約

や食品スーパーがネット宅配を広げていることが影響しているようだ。

1カ月当たりの通信費は平均月9200円で前回と変わらず、高止まりしている。格安携帯・スマホを利用している人は8・4%で2・4ポイント増え、「利用していないが、してみたい」という人は28%に達した。

15年に相次ぎサービスが始まった音楽や動画の定額制配信は浸透が遅れている。「利用経験がある」と答えた人は音楽で2・2%、動画で1%程度にとどまり、様子見している消費者が多い。